

(別紙4(2))

事業所名 メナージュかずえ

目標達成計画

作成日: 平成31年2月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	地域との結びつきを意識しながら関わりを続けてきた結果、生活歴を中心としたパーソナリティに寄り添うことで新たな気づきや発見が得られてきている利用者もいる。今後は、27名それぞれの生活歴、潜在能力、ストレンクス等に着目し、おのおの思いを大切にしながら心に寄り添うよう取り組む。その中で利用者1人1人が自らが楽しいと思える目標を持ち生活できるよう努めていきたい。	個人の思いに寄り添い特技や趣味等楽しいと思える目標を持ち生き活きと生活できるようにする。	①現在の生きがいににつながる生活への探求を継続し、各利用者にとって安心して生きていける暮らしを追求する。 ・生活歴、潜在能力、思い、家族との人間関係等を本人・家族から再確認する。 ・日常生活の中での活動への取り組みの状況 ・その時、その時の表情の変化等についてスタッフ、家族との意見交換 ・本人、家族が安心して暮らせる暮らしについて	2ヶ月
				②実現可能に向けてのケアプランを作成する。 ③ホーム全体の年間行事や外出支援を計画する。	6ヶ月
				④週1回のカンファレンスにて実施状況について話し合い検討する。 ⑤運営推進会議(2ヶ月に1回)にて目標達成計画への取り組みを報告する。 ⑥毎月家族へ近況を報告し話し合い、計画の見直しを一緒に行い意向を反映していく。 ⑦グループホームでの外出やかずえの郷等への行事には臨機応変に対応していく。	12ヶ月
				⑧誕生日には主役になり特技等披露できる環境を提供する。 ⑨場合によってはユニット合同の企画や地域の方を招待する企画を考案する。 ⑩目標達成状況を評価し新たな目標に向けご本人や家族と話し合う。	

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。